

<第 34 回 経食道心エコー講習会について>

国立循環器病研究センター 麻酔科 大西 佳彦

エコー装置や解析ソフトが年々進化してきています。経食道心エコーでの評価診断も精度良く出来るようになってきています。反対に新たな診断を周術期に外科医や内科医に要求されることも多くなってきています。また、カテーテル治療や小切開手術、ロボット手術も年々増加してきており詳細な評価も求められてきています。弁膜症診断のガイドラインも新しくなりました。夏の講習会ではこうした新しい知識と技術を吸収できるように臨床に即した内容を中心として組んでみました。残念ながらコロナの影響でウェブ配信となってしまいますが、臨場感を出すため半分程度の講義は国立循環器病研究センター講堂で 7 月 10, 11 日に録画収録する予定にしております。8 月にはウェブ配信できると思いますのでよろしくをお願いします。